

# 試合方法

## ■1次予選(リーグ戦)

- 1) ノーアドバンテージの1セットマッチ(6オールで12ポイントのタイブレーク)で行う。
- 2) 試合順序は、ブロックのNo.1とNo.2が最初に試合をし、その次にその敗者とNo.3が対戦する。
- 3) 1ブロックにつき試合球は4球(2缶)使用。これで全ての試合を行います。
- 4) スコアの記入は当事者ではなく、待機している選手が行う。試合がなくてもそのブロックの選手は原則としてコート近くに待機していなければならない。
- 5) リーグアップした選手(勝者)が全スコアの記録を試合球とともに競技本部まで届け出る。
- 6) 順位決定方法  
勝ち上がりの優先順位は
  1. 勝率(例:2勝0敗)の高い選手を勝ちとする。
  2. 同率勝者が2名の場合は、(例:2名ともが1勝1敗)、お互いの対戦結果の勝者を勝ちとする。
  3. 同率勝者が3名の場合は、取得ゲーム率(自分が取得したゲーム数÷自分がプレーした全ゲーム数)の高い選手を勝ちとする。4.3の結果、2名が同率であれば2の方法で決める。  
5.3の結果、さらに3名が同率であれば12ポイントタイブレークを行い、勝率(例:2勝0敗)の高い選手を勝ちとする。  
6.5の結果、同率勝者が3名の場合は、取得ポイント率(自分が取得したポイント÷自分がプレーした全ポイント数)の高い方法を勝ちとする。  
7.6の結果、2名が同率であれば、2の方法で決める。  
8.6の結果、さらに3名が同率である場合は5~7を繰り返す。
- 7) ノーショウ(試合放棄=会場に来ていない)、失格の場合、その選手の取得ゲーム数はすべてゼロ(0)として記録される。
- 8) けが、等による途中棄権(リタイア)の場合、棄権するまでにプレーして取得したゲーム数は記録される。  
(例:A選手とB選手の試合で、A選手が5-2でリードしていたにもかかわらずけがのために棄権した場合、勝者はB選手でスコアは7-5と記録する)ただし、途中棄権した選手はリーグアップの権利を失う。
- 9) ひとつの試合が終わり次第、次の試合を開始する。原則的に休憩は認めない。ただし、トイレ休憩、着替えのためにコートを離れることは認める。
- 10) 本選トーナメント及び2次予選トーナメントのドローはストレートイン選手以外はオープンドローといたします。

## ■2次予選(トーナメント)

6ゲームプロセット(6オールで12ポイントのタイブレーク)で行う。

## ■本戦トーナメント

8ゲームプロセット(8オールで12ポイントのタイブレーク)で行う。

ベテラン種目は8ゲームプロセットセミアドバンテージ(45歳以上女子ダブルスはワンセットマッチ セミアドバンテージ)で行う

## ■本戦リーグ戦

ワンセットマッチ セミアドバンテージで行う。

※天候、その他の理由により試合方法を変更する場合があります。